

守りたい 東北の大地

東北は、日本の中でも特に海・山・森などの豊かな自然の恩恵を受けてきた地域と言えます。だが同時に、常に中央による収奪を繰り返されてきた地域でもありました。中央と地域の狭間にあって、私たちは3.11を経験したのです。東北の再生の行方は、日本の今後を見据える重要な問題となるでしょう。東北の資源をどう活かしていくか、私たちの生き方の今後を遠望したいと思います。

入場
無料



① 基調講演

「水と緑の国、日本」

立正大学名誉教授 富山 和子氏

1933年群馬県生まれ。早稲田大学文学部卒。「水と緑と土は同義語」との考えのもとに、国土利用における農業や林業の重要性を訴えている。日本の農耕文化が水源としての森林、河川を守ってきたと主張し、水田稲作の大切さを強調。詩と風景を合わせて綴る「日本の米カレンダー」を毎年発行。環境問題のバイブルともいわれる「水と緑と土」(中公新書)など著書多数。

日時

6月8日(土) 15:00~17:30
(開場/14:30)

場所

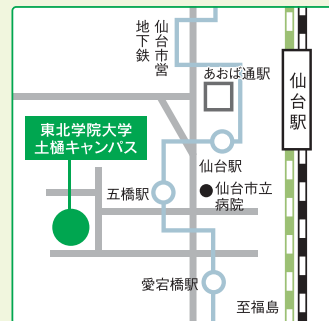
東北学院大学土樋キャンパス8号館(5階)
押川記念ホール

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 TEL 022-264-6424[事務局]

JR「仙台駅」から徒歩20分

地下鉄仙台駅より富沢駅方面乗車、
「五橋駅」または「愛宕橋駅」
下車徒歩5分

仙台駅前より長町方面バスにて
「仙台市立病院」前で下車徒歩5分



② シンポジウム

「土を活かして復興へ」

【パネリスト】



立正大学名誉教授
富山 和子氏



民俗研究家
結城 登美雄氏

【司会兼務】



東北学院大学教養学部長
佐久間 政広氏